



## 東北地方の城郭建築

担当教員：飛ヶ谷 潤一郎 准教授

022-795-5025

[junichiro.higaya.d7@tohoku.ac.jp](mailto:junichiro.higaya.d7@tohoku.ac.jp)

受入人数：最大8人

弘前城天守、一八一〇年

実施時期：第2セメスター 木曜・5講時を基本とする。ただし、2回目以降の授業日・講時は初回授業時に受講者と相談して決定。通常授業ほか、現地調査見学（1日の行程で実施予定、土曜日の可能性あり）を1~2回程度行う。また、今後のBCPレベルの変化に伴い、内容を変更することがある。

開始日時：10月8日（木）16：30から

場 所：建築・社会環境工学科 人間・環境系教育研究棟 1階104号室

概 要：城の本質的な用途が戦争時における防衛であることは、古今東西のいかなる例でもほぼ共通している。しかし、おおむね平和な現在に城は不要であるにもかかわらず、とくに我が国では城がしばしば再建されるのはなぜだろうか。このテーマでは、東北地方の城郭建築を実際に訪れて、建設当時の歴史的背景とともに、現代における城の役割を学ぶことによって、地域における象徴的な建築について議論を展開することをねらいとする。